

公開実用新案公報

昭53—8202

⑤Int. Cl.² 識別記号 ⑥日本分類 庁内整理番号 ④公開 昭和53年(1978)1月24日
 H 04 R 5/00 102 A 5 7346—23
 H 03 G 3/00 98(5) A 11 6707—53

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑤4ステレオ音像定位装置

門真市大字門真1006番地 松下
電器産業株式会社内

⑦実 願 昭51—90361

⑦出 願 人 松下電器産業株式会社

⑧出 願 昭51(1976)7月6日

門真市大字門真1006番地

⑨考 案 者 三木弼一

⑨代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1名

⑤7実用新案登録請求の範囲

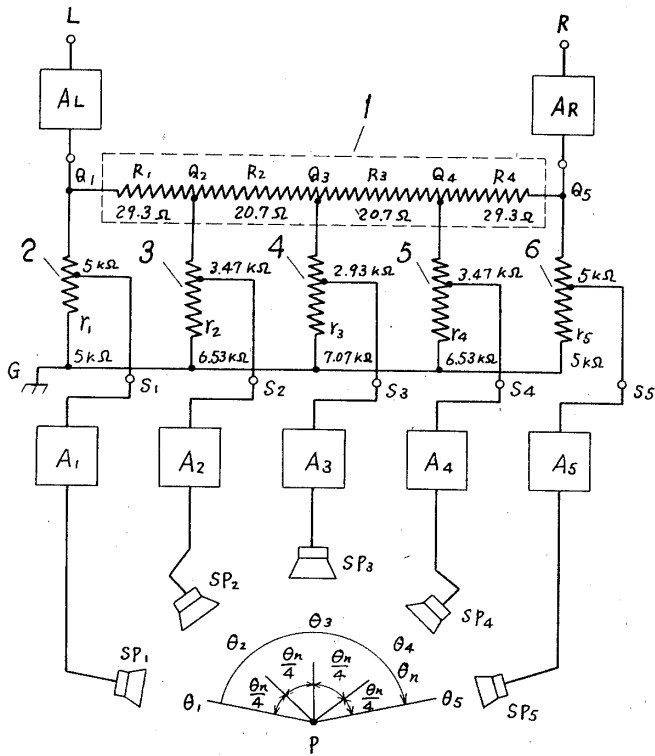
(1) 左および右音声信号が印加される左右2つの音声入力端子と、聴取者の前面に配置されたn個のスピーカを駆動するためのn個の音声出力端子とを有し、聴取者から見て上記n個のスピーカ群の最左端から最右端までの角度 θ_n に対する各スピーカの配置角 θ_r / θ_n に応じて前記左および右音声信号を混合し、上記n個の音声出力端子にn個の音声出力信号を与えるものであつて、上記左および右音声入力端子に直結される2つの端子と(n-2)個の中間端子を含むn個の端子を有するブリッジ抵抗体と、このブリッジ抵抗体のn個の端子とアース端子との間に結合され、それぞれ中間端子が上記n個の音声出力端子に結合されるn個の分圧器とから構成され、かつ上記n個の分圧器中、左から数えて第r番目の分圧器の分圧比が、上記最左端から数えて第r番目のスピーカの配置角 θ_r / θ_n に応じて、 $K \{ \sin(90\theta_r / \theta_n) + \cos(90\theta_r / \theta_n) \}$ (但しkは定数)となるように設定したことを特徴とするステレオ音像定位装置。(2) ブリッジ抵抗体は、その最左端の端子から数えて第r番目の端子までの抵抗値の全抵抗値に対する比率が、

$\tan(90\theta_r / \theta_n) / \{ 1 + \tan(90\theta_r / \theta_n) \}$ となるように設定したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のステレオ音像定位装置。(3) ブリッジ抵抗体は、その最左端の端子から数えて第r番目の端子までの抵抗値の全抵抗値に対する比率が θ_r / θ_n に比例するように設定したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のステレオ音像定位装置。

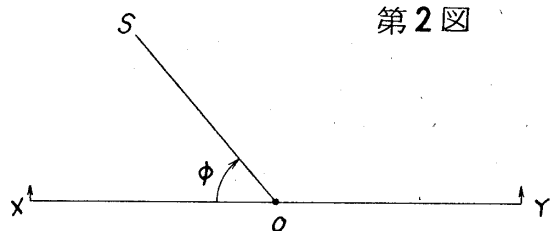
図面の簡単な説明

第1図は本案のステレオ音像定位装置の一構成例を示す結線図、第2図はステレオ音像の記録状態を示す説明図、第3図は本案のステレオ音像定位装置の他の構成例を示す結線図、第4図は同装置に使用されるブリッジ抵抗体の抵抗分配曲線図、第5図は同装置に使用されるブリッジ抵抗体の一例を示す構成図である。

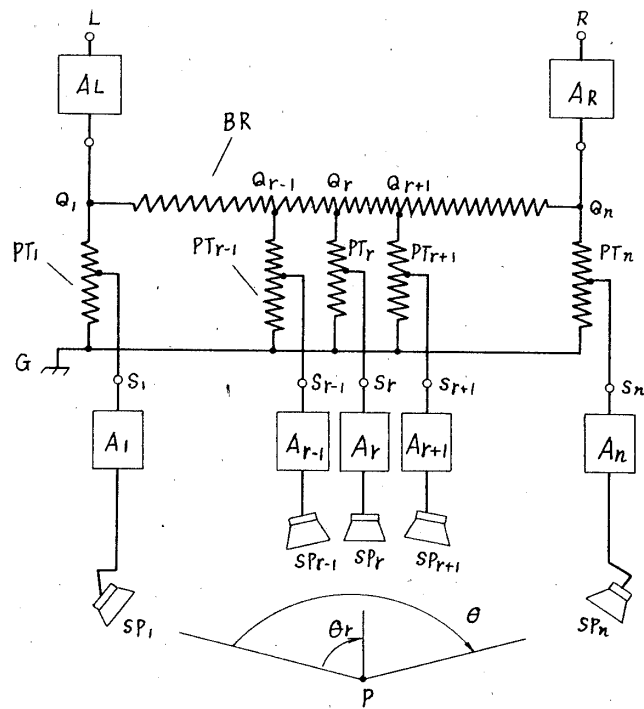
Q_1, Q_5, Q_n ……音声入力端子、 $S_{p1}, S_{p2}, \dots, S_{pn}$ ……スピーカ、 S_1, S_2, \dots, S_n ……音声出力端子、 A_1, A_2, \dots, A_5 ……駆動増巾器、 AL, AR ……増巾器、 $1, BR$ ……ブリッジ抵抗体、 Q_2, Q_3, \dots, Q_{n-1} ……中間端子、 $2, 3, 4, 5, 6, PT_1, PT_2, \dots, PT_n$ ……分圧器。



第1図

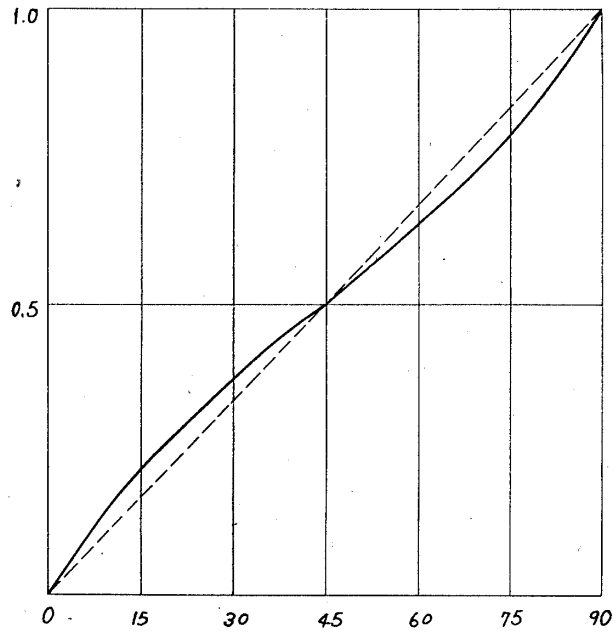


第2図



第3図

第4図



第5図

